

看護ひろしま

広島県看護協会報

2023
November
No.252

11

在宅での生活を支える
訪問看護ステーションのために
訪問看護ステーション相扶

看護の動き最前線

看護の出前授業

ふれあい看護体験

社会経済福祉委員会コーナー
リスクマネージャー意見交換会

助産師職能委員会コーナー
助産師職能研究会

保健師職能委員会コーナー
保健師職能研究会

支部活動報告 ～広島南支部、広島北支部、福山・府中支部

広報委員のおすすめ美術館

[Topics]
図書室からのお知らせ

[Information]
看護生涯教育・研究センター
認定教育部からのご案内



Hiroshima Nursing Association
広島県看護協会
会員数 / 合計19,821人
(令和5年11月1日現在)

在宅での生活を支える 訪問看護ステーションのために

訪問看護ステーション相扶

管理者 野田 宏美

当事業所は、県北の庄原と三次との市境に位置し、庄原だけでなく三次・世羅を含む広域を訪問しています。職員は30歳代～70歳代で、常勤のほか、職員のライフスタイルに合わせて、時短や週2～4日の勤務の者もいます。急性期の病院を経験したがん看護や高齢者に多い心不全看護、皮膚疾患の対応に強い看護師がそろっています。

当事業所の特徴は、看護師がバディを組んで訪問しているところ。携帯電話の電波の届きにくい山間部を移動する私たちにとって、思わぬ事故や災害に対応するため。経営的にデメリットな側面も否めませんが、近年、身の危険を感じるほどの大雨や大雪に遭遇する



毎朝のミーティング風景

ことが増えてきています。2人で訪問することで、危険回避や安全な移動につながっています。訪問前の車内でアセスメントを共有し、訪問後はその評価ができるのは良い点です。時に、熱い

ディスカッションを繰り広げ、時に道端の草花を一緒にめぐることで活力を維持しています。また、毎朝のミーティングで、利用者ごとの課題の共有や、具体的な計画について意見を出し合い、根拠ある看護の実践につながっています。

今年、AYA世代のがん末期の利用者Aさんの在宅看取りに関わらせていただきました。疾患や治療による身体的・精神的ストレスだけでなく、妊孕や就労などの社会的な問題や将来への不安、家族関係の問題など様々な困難がありました。葛藤しながらもAさんの思いをひたすら聞きながら関わることで、最初は不安だらけのAさんが、自分のしたいことが言えるようになりました。Aさんの変化していく姿を家族と一緒に感じ、私たち自身も成長させていただいた貴重な経験でした。これからもお互いの強みを活かし、高め合える仲間とともに、安心して在宅で暮らせるお手伝いをしていきます。



訪問出発時

災害支援ナース応援派遣について

広島県健康福祉局医療介護基盤課 主査 半田 文

◎ 現行の災害支援ナースの概要

これまで、日本看護協会及び県看護協会において、災害発生時の看護ニーズに迅速に対応できるよう、災害支援ナースの養成を行っていただいています。災害支援ナースの活動は多岐にわたり、被災した医療機関での看護業務、避難所の環境整備や感染症対策、医療チームへの橋渡しなど、様々な場面で活躍いただいています。

現行の災害支援ナース登録者数は令和3年3月末現在で、10,251人とされており、平成23年3月の東日本大震災をはじめ、広島県でも大きな被害を受けた平成30年7月豪雨、九州の令和2年7月豪雨など数々の活動実績があります。

◎ 災害支援ナース(災害・新興感染症対応)の養成・応援派遣の目的

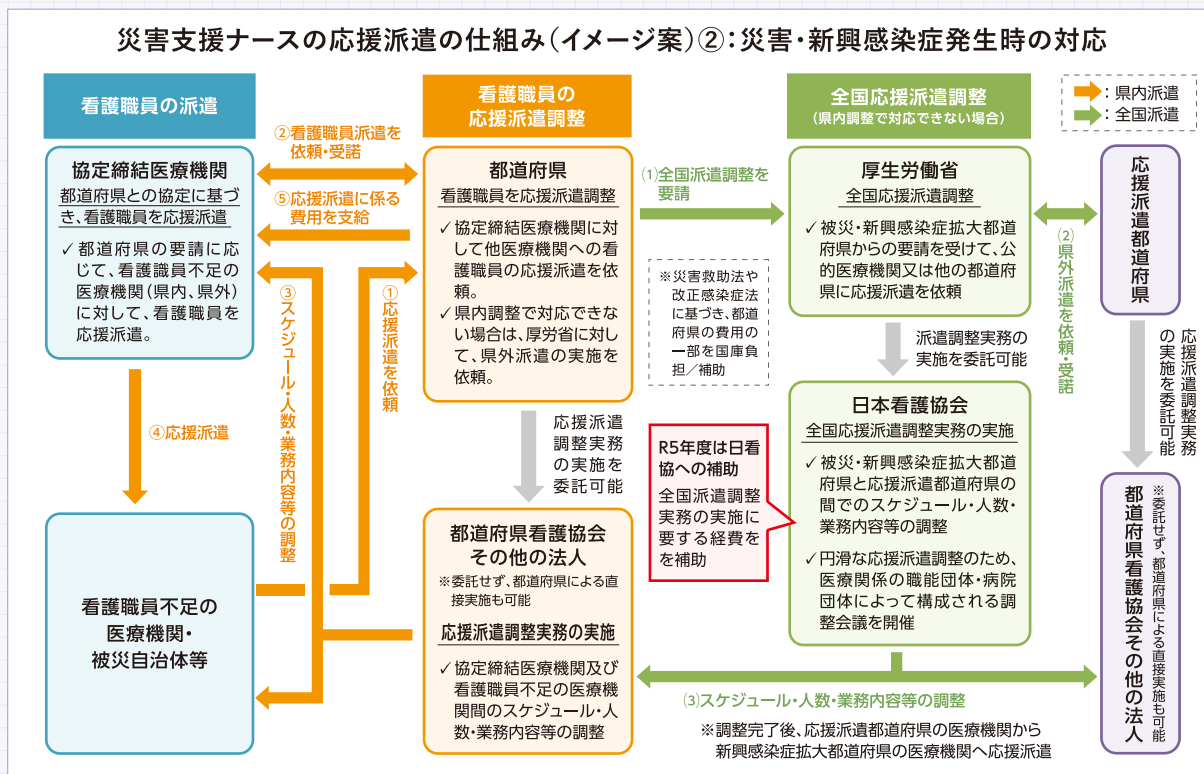
改正医療法によると、従前から災害支援ナースに貢献いただいていた災害時の応援派遣に加えて、新興感染症発生時の応援派遣にも対応できる看護職員の養成を推進し、円滑な派遣調整のため

の仕組みを整備することにより、新興感染症の発生に際して、都道府県において迅速に看護職員等の確保を図ることを目的とされています。

また、これまでの災害支援ナースによる応援派遣は、法令等の根拠がなかったため、活動が不安定であるとともに、活動参加の制約になっていました。令和6年度以降、災害支援ナース(災害・新興感染症対応)を改正医療法の「災害・感染症医療業務従事者」とし、都道府県、医療機関等間の協定に基づく業務と位置付けることにより、応援派遣に係る実費を公的に負担し、派遣先での業務を所属する医療機関等における業務として、安定的かつ安心して実施できる環境が整備されます。

災害支援ナースが所属する医療機関等の皆さまには、県から協定締結依頼をいたしますので、締結にご協力を賜りますようお願いいたします。また、広島県看護協会では、災害支援ナース養成研修を行っておりますので、積極的・計画的な受講を推進していただくよう、重ねてお願いいたします。

災害支援ナースの応援派遣の仕組み(イメージ案)②:災害・新興感染症発生時の対応



いのちの大切さについて考える



広島大学病院
助産師
能宗 咲枝

今回、「看護の出前授業」で、比治山女子中学校2年生を対象に、いのちの大切さについて授業を行いました。

授業の内容として、まずは看護職について、助産師の仕事について写真を用いて紹介。普段どのように、妊婦さんや赤ちゃんなどの看護を行っているかを説明し、皆さん興味を持って聞いてくれていました。そして、妊娠・出産といういのちを育むことについて授業を行い、その中で妊婦体験ジャケットを着用してもらいました。重さに驚く生徒も多く、妊娠中の大変さを実感している様子でした。また、赤ちゃん人形を用いて抱っこ体験も行いました。

授業を通して、妊娠・出産は奇跡の連続であることを学び、いのちの大切さについて考えるきっかけとなったのではないかと思います。まずは自分自身を大切にすること、そして周りの友達も大切な存在であることを認識し、お互いに尊重し合いながら過ごしてほしいと思います。



赤ちゃん抱っこ体験

妊婦体験



授業の様子

夢を叶えるその一歩を見守る立場で



国家公務員共済組合連合会 広島記念病院
看護部長
渥美 綾子

昨年まではコロナ禍で病棟体験を控えていましたが、今年是一日企画で8月4日に開催し、高校生12名が参加しました。病院概要説明の後、病棟では車椅子乗車体験や血圧測定、手浴や足浴などのケアを現場の看護師と共に体験しました。患者さんから「気持ちよかったよ、ありがとう」の反応を受け、「やりがいを感じる」や、現場で働く看護師を近くで見て、「働く看護師さんかっこいい」「あんな看護師さんになりたい」「夢を叶える気持ちが強くなった」などキラキラした笑顔で話してくれました。スタッフもそれを受け「看護師になった頃の気持ちを思い出し今後の励みになる」と気持ちを引き締めており、嬉しく思いました。昼食は病院食、午後からは手洗いテストや、N95マスク着用などの体験をしました。中でも注射シミュレーターを使って血管穿刺体験は興味津々の様子でした。体験会では白衣を着用しましたが、今時なのか、スクラブへの憧れの声もありました。今回の体験を経て、看護師になるという夢を叶えた姿に出会えることを期待しています。



初めましての自己紹介



N95 マスクつけてみた



病棟で患者さんと触れ合う



新人看護師さんと談話中

助産師職能委員会コーナー

助産師職能 研究会

母子のための地域包括ケア病棟 推進に向けた取り組み

助産師職能委員会
沖土居 純子
(市立三次中央病院)



松下有希子 先生

7月1日、「母子のための地域包括ケア病棟推進に向けた取り組み～院内助産を広げてゆくために今できること～」をテーマに、第1回助産師職能研究会を開催しました。さぬき市民病院 副看護部長 松下有希子先生をお招きし、母子のための地域包括ケアシステム確立に向けた取り組みや、助産師の専門性の発揮や自律を促すために、助産師外来・院内助産・セミオープンシステム・産後ケアを導入された経験などご講演いた

だきました。中でも、分娩のみ他の大きな病院で行い、妊娠中のフォローや、分娩後1日目からのフォローはさぬき市民病院で行うというセミオープンシステムは、妊娠期から住み慣れた地域で安心して生み・育てることのできる切れ目のない助産師のケアが提供できる画期的なもので、驚きを感じ

ました。グループワークではそれぞれの施設の課題について情報共有し、課題解決に向け考えました。

出産数の減少・分娩取り扱い施設の減少が進む中、私達助産師に求められる実践能力について考える機会となり充実した研修になりました。



保健師職能委員会コーナー

保健師職能 研究会

有事の時こそ支援者自身の メンタルヘルスを大切に！

保健師職能委員会
土居 夕莉
(NTT西日本健康管理センタ)



原田菜穂子 先生

岡山大学の原田菜穂子先生を講師にお招きし、「有事の時こそ支援者自身のメンタルヘルスを大切に！」と題して研究会を実施しました。先生の豊富な経験に基づくお話を伺い、支援者自身のストレス対策の重要性について再認識しました。

具体的な手法として「サイコロジカル・リカバリー・スキル」という、被災にあった人がおかれた困難な状況を改善して、日々の生活を前に進めることを支援するプログラムや、「マインド

フルネス」について実践を交えて学びました。

グループワークでは、3年以上にもわたった新型コロナウイルス感染症対応を振り返り、その経験に改めて価値付けをすることで、今後の有事に向け、「自分たちには乗り越えられる力がある」という自信にもつながりました。

今回の学びを、今後の保健師自身のメンタルヘルスケアやモチベーションアップに活かしていきたいです。



リスクマネジャー
意見交換会

コミュニケーションエラーを防ごう ～伝える力・聴き取る力～

社会経済福祉委員会
角屋 厚子
(広島赤十字・原爆病院)



原田景子 先生

皆さん、コミュニケーションエラーがインシデントにつながった経験はありませんか。今回の意見交換会では、K-COACH代表の原田景子先生にご講演いただいた後、グループワークを行いました。

講演では、伝える側・聴く側のイメージが「同じ」と思い込むことでコミュニケーションがねじれ、エラーにつながることを確認しました。エラー防止には工夫が必要で、伝え方では、「なぜか」という理由や意図を伝える、「伝えたい

内容を言い換えるなど言葉+αを心がける」、聴き方では「『…だろう』は聴く側の解釈であり真実とは異なる可能性があるため確認癖をつける」など、具体的な方法を学びました。

またグループワークはワールドカフェ方式で行い、経験事例を基にどの様にすればエラーを防げたのかを話

し合いました。参加者からは「様々な意見や情報が得られた」「対面でのグループワークで楽しかった」などの感想がありました。

コミュニケーションの際には、考えを言語化し、相手と確認しあうことが大切であることを再確認できた意見交換会でした。



鳴り響くモニタアラーム、放置していませんか？ ～呉共済病院MACTの取り組み～

社会経済福祉委員会
伊藤 由夏
(国家公務員共済組合連合会
呉共済病院)

当院では、不適切なモニタ管理による事故防止のため、“呉共済病院MACT (Monitor Alarm Control Team)” を立ち上げました。当院MACTは、医師(副院長、不整脈科部長)、看護師(特定行為・認定看護師、師長)・臨床工学士・検

査技師・リハビスタフ・薬剤師で構成する多職種連携チームです。主な活動として、モニタアラーム分析に基づいた対策の検討、モニタ装着基準に沿って評価を行うチームラウンドやカンファレンスの実施、職員の知識・技術向上のための研修やニュースレターの発行などを行っています。

また各病棟では、患者を移送する職員(リハビスタフ・検査技師・看護補助者等)がナースステーションに声をかけ、看護師が「モニタの入退室管理」を行うよう取り組んでいます。このことは、離棟時に発生するアラームの減少だけでなく、双方の負担軽減や良好なコミュニケーションにより、働きやすい職場環境の改善にもつながっています。



病棟でのモニタカンファレンス



ナースステーションの外で声をかけるリハビスタフ(写真左)と中でモニタの入退室管理を行う看護師(写真右)

広島南支部

未来の看護師にエールを！

広島南支部長 迫井 敏美 (県立広島病院)



令和5年7月にふれあい看護体験とコラボし進路相談会を開催しました。病院が進路相談会を提供することで、将来の看護師たちが適切な情報とサポートを受けながら、自分の目標を達成する手助けをすることができます。また、看護師になりたいという情熱やモチベーションを高める助けにもなります。広島南支部では3施設で計87名の高校生が参加しました。質問も積極的で、多くが受験に関する内容でした。若き未来の看護師に期待が膨らみます。

広島北支部

社会経済福祉研修会を開催しました！

広島北支部長 高田 玉美 (医療法人社団うすい会 高陽ニュータウン病院)

今年度のテーマは「アンガーマネジメント」でサンライズマリン瀬戸 施設長の久保田あけみ先生に講義していただきました。怒りを理解し身につけられる感情コントロールについてグループワークを行いながら、参加者(35名)が自分自身の日常の怒りについて振り返ることができました。職場や家庭ではたくさんの怒りがありますが「怒りが生まれるメカニズム」や「アンガーマネジメントの3つのコントロール」についてトレーニングし活気のある研修会でした。



福山・府中支部

進路相談会を開催しました！

福山・府中支部長 野々平 裕子 (福山市民病院)



令和5年度の看護学校進路相談会を7月8日に開催しました。福山・府中市内の高等学校へ案内を行い、9校から38名の参加がありました。看護学校の先生より看護教育についての説明があり、その後、看護学生・看護師から看護師を目指そうとした動機や学生生活・看護師の仕事について体験発表をしていただきました。3班に分かれたグループワークでは活発な意見交換ができ、2時間半があつという間に過ぎてしまう満足度の高い相談会となりました。看護職を目指す方が一人でも増えるように今後も活動を継続してまいります。

TOPICS

図書室視聴覚資料のご案内

図書室では、現在518巻の視聴覚資料を所蔵しています。

この度新たに購入したDVD7本をご紹介します。

お問い合わせ先

広島県看護協会図書・情報管理室
TEL・FAX 082-296-5079
E-mail tosoyo@nurse-hiroshima.or.jp



- ① うまれる《ドキュメンタリー映画 医療機関向け》
- ② 実習に役立つ! 看護コミュニケーション (全3巻)
- ③ クリティカルケア看護 (全3巻)





広報委員のおすすめ
「美術館」

広報委員 大道 理恵 (医療法人) R広島病院

心も体もリフレッシュできる所で過ごすことが何より好きです。その一つに、今年3月に開館された建築家 坂茂さんが手がけた建築空間も楽しめる自然豊かな場所に佇む下瀬美術館があります。ここでは、ある工芸家の工芸品をメインにゆっくりじっくりと鑑賞し、作品に登場する四季折々の草花を中心とした色鮮やかな庭を堪能できます。また、坂茂さんが瀬戸内海に浮かぶ島々から着想し、広島造船技術を活用した水の浮力で動かせる彩り豊かな可動展示室や望洋テラスから望む瀬戸内の海景は圧巻です。最後は、地元の旬のものをふんだんに使用した美味しいものを食べて充電完了です。

今年も紅葉が見頃を迎える季節になりました。過ぎゆく季節を逃さずに、芸術の秋や食欲の秋を満喫してみたいはいかがでしょうか。



大竹市の下瀬美術館にある「エミール・ガレの庭」

Information

看護生涯教育・研究センター
認定教育部からのご案内



2024年度 認定看護管理者教育課程 受講者募集のお知らせ

教育課程名	ファーストレベル		セカンドレベル	サードレベル
	第1期	第2期		
開催期間	2024年4月～7月 (約20日間)	2024年11月～2025年1月 (約20日間)	2024年8月～12月 (約35日間)	隔年開講のため 2024年度は休講
定員	70名	50名	50名	
受講料 (税込)	会員	122,500円 (税込)		
	非会員	187,500円 (税込)		
修了証明料	10,000円 (税込)			
募集期間	2023年11月6日 (月) ～ 11月13日 (月) 消印有効	2024年1月15日 (月) ～ 1月22日 (月) 消印有効		
受験料 (税込)			3,000円 (税込)	
受講決定通知	2024年2月下旬、 個人宛 に 受講の可否を文書で通知する。	2024年3月下旬、 個人宛 に受講の可否を 文書で通知する。		

※ファーストレベルは第1期と第2期の募集期間が別ですのでご注意ください。

※各教育課程とも、土・日・祝日に研修が入ることがあります。

■申込書類は、ホームページからダウンロードできます。

■申込に関する詳細は、募集要項または広島県看護協会ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

看護生涯教育・研究センター 認定教育部

TEL 082-503-2382

E-mail nintei@nurse-hiroshima.or.jp

URL <https://www.nurse-hiroshima.or.jp>

広島県看護協会報 看護ひろしま

11月号/252号

発行 2023年11月

発行所 公益社団法人 広島県看護協会

〒730-0803

広島市中区広瀬北町9-2

TEL:082-293-3362

発行責任者 山本 恭子

編集 広報委員会

制作 有限会社バル



食～ひろしまが育む風景～ 表紙の写真/福山のくわい

広島県福山市は、日本の名城といわれる福山城と日本一の生産量である福山のくわいがあります。福山城は、福山駅を降りるとすぐに見えてきて、豊かな木々に囲まれた美しいお城です。くわいの栽培は、昔、市内にある福山城周辺の肥沃な堀で栽培が始まったとされています。「福山のくわい」は、表面が鮮やかな青色で、食べると、ほっこりとした食感と、ほろ苦さや甘味が残るのが特徴です。間もなく新しい年を迎えます。くわいは、おせち料理の縁起の良い食材として需要があります。おせち料理を食べて、1年の始まりの幸せと健康を願い、看護職として精進していきませんか。(松浦 美帆子)